

2. 指標設定

成果指標	指標名	基幹系電算経費削減	目標年度	H28	指標の設定理由				
	数値	H22経費比30%減			行政の情報化を進める上で中核となる基幹系電算システムに経費削減目標を設定することで、『経費を削減する取組に聖域はない』という意識を醸成する				
活動指標	指標	a	クラウド化の推進	b	プリンターの削減	c	出先機関等のネットワークの高速化	d	
	数値	目標	システム化された60業務の90%をクラウド化	目標	50%	目標	—	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
基幹系電算経費削減	千円	123,955	262,772	79,292
	%	234.3	496.7	149.9

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a クラウド化の推進	業務	0/60	40/60	43/60
		0.0 %	74.1 %	79.6 %
b プリンターの削減	台	262	189	153
		93.0 %	67.3 %	54.4 %
c 出先機関等のネットワークの高速化		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
クラウド化による経費削減効果等を最大限に活用するため、極力、システム改修は実施しない方針としているが、利用する原課からは強い改修要望がある。
対応（改善点等）
基幹システムを改修するのではなく、同じクラウドを使用している他自治体の運用を調査することで、極力、改修に頼らない業務運用を図る。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

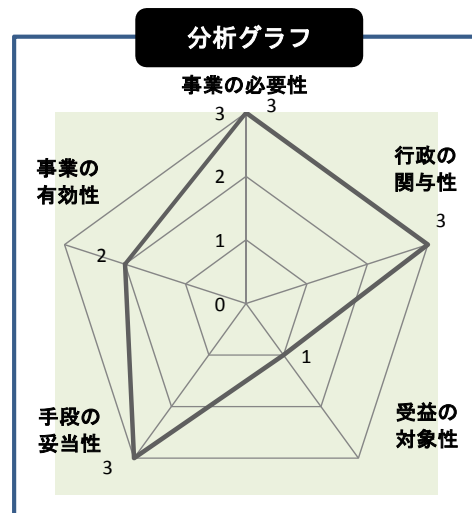
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		75,197	107,478	94,928	117,594
財源内訳	国費				14,806
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	144,298	317,080	96,566	117,594
うち経常		75,197	107,478	94,928	117,594
事業費に係る人件費		11,610	19,751	15,692	15,524
事業費に係る人役		2.70	4.60	3.60	3.50

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
基幹系システムのクラウドへの移行により、関連経費が平準化されていくと考えている。しかしながら、H26年度からマイナンバー法への対応が必要となるので、総合的には前年並を目標としたい。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 行政事務の電算化は不可欠であり、今後、益々その重要性が増してくる。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政主体で行うもの。しかし、クラウド化でシステムは自己所有から他団体との共同利用・管理に切り替えた。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 市の職員が対象である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 クラウド化によるコスト削減の取組やネットワーク網の高速化は重要な施策であり、成果指標にも直結する。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 クラウドによる基幹系システム構築はH23年度以降であり、効果が現れるのはH25年度以降である。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	行政コストの削減を目的とした効果的なシステムの見直しに努めること。